

# 「業務は概ね計画通り」

## さんむ医療セン評価委が発表

9月2日開会の山武市議会定例会で地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会(委員長村上信乃旭中央病院名誉院長)の評価結果が市から報告された。例年ならば評価委は山武市役所で開催され、会場で委員が意見を述べた。今年は新型コロナウィルスの関係で書面による評価となった。

評価の対象は、同センターの令和元年度の業務実績についての評価結果及び第3期中期目標期間(平成29年度、同30年度、令和元年度)の業務実績となっている。

### 令和元年度業務実績

令和元年度業務実績の評価対象は6項目。

「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するため取るべき措置」ほか5項目

目。ここでは常勤医師34人体制を維持した、地域の中核的病院の役割を果たしている、地域がん診療病院として

5項目でB評価、1項目でC評価となった。このB評価は中期目標・中期計画の達成の中で令和元年度の業務も概ね計画通り進んでいる、という評価だ。

目。C評価となった。

このB評価は中期目標・中期計画の達成の中で令和元年度の業務も概ね計画通り進んでいる、という評価だ。

令和元年度はコロナの影響で経常損失8千619万円余を出した。これは平成22年4月の同センター設立以来の赤字だが、やむを得ないことと評価委は理解を示した。ただ人件費比率の悪化については懸念している。

### 中期業務実績は良好

次は中期目標の業務実績6項目。対象は「業務運営の改善及び

効率化に関する事項」ほか5項目。ここでは一般病棟入院の看護師7対1の算定適用、休日当番医体制、二次救急医療輪番体制などの救急医療への取り組み等が評価された。A評価1、B評価5のいい成績だった。

課題、改善の必要への提言もあった。一般急性期医療を中心に、在宅医療を支援する病院として幅広い医療を行う、医療及び介護を包括的に提供できる体制の構築を行うなど7点を挙げた。その他として、地域の中核病院として患者中心の医療を行い、信頼される病院運営を行う。医師、看護師の確保や人材を育成する。病院の建替整備は計画通り進めることを期待する等の提言もあった。